

平成18年1月19日

各 位

会社名 西武鉄道株式会社
代表者名 取締役社長 後藤高志
問合せ先 広報部長 関根正裕
(TEL 04-2926-2045)

西武建設株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社の関連会社である西武建設株式会社は、平成18年1月19日開催の同社取締役会において、第三者割当増資を行うことを決議し、当社は本日開催の取締役会において、その発行株式の全部を引受けることを決議し、同社を子会社化することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 増資引受けの理由

同社の自己資本の充実および財務体質の改善を図るものであります。

当社といたしましては、今後、同社の策定した「中期再建計画」の実現による企業価値増大に向けて、グループ企業とも連携しつつ、同社の経営全般について支援を行ってまいります。

2. 新たに子会社となる西武建設株式会社の概要

- (1) 商 号 西武建設株式会社
- (2) 代 表 者 代表取締役社長 大澤茂治
- (3) 本 店 所 在 地 東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
- (4) 設 立 年 月 日 昭和16年11月11日
- (5) 主 な 事 業 内 容 土木・建築・住宅を中心とした総合建設業
- (6) 決 算 期 3月
- (7) 従 業 員 数 847名（平成17年12月末現在）
- (8) 主 な 事 業 所 東日本支社（東京都）西日本支社（大阪府）
- (9) 資 本 の 額 14,000,000,000円（減増資後）
- (10) 発行済株式総数 56,000,000株（減増資後）

(11) 最近事業年度における業績の動向

	平成16年3月期	平成17年3月期
売上高	105,357 百万円	94,499 百万円
売上総利益	6,635 百万円	4,418 百万円
営業利益	2,097 百万円	114 百万円
経常利益	115 百万円	1,910 百万円
当期利益	118 百万円	8,949 百万円
総資産	157,203 百万円	140,540 百万円
株主資本	24,138 百万円	7,999 百万円
1株当たり配当金	-	-

(12) その他 同社は15社の子会社を有しており、これらの会社は同社と同時に当社の子会社となります。

3. 株式取得の方法

以下の条件にて、同社が行う、株式消却を伴う100%減資後に実施する第三者割当増資を引受けることにより、同社を当社の子会社といたします。

- (1) 引受新株式 普通株式 56,000,000 株
(当社が全ての割当てを受ける予定です。)
- (2) 発行価額 1株につき500円
- (3) 発行総額 28,000,000,000円

4. 取得後の所有株式異動の状況

	所有株式数	所有割合	議決権の数
異動前	36,000,000 株	50%	36,000,000 個
株式消却後	0 株	0%	0 個
株式取得後	56,000,000 株	100%	56,000,000 個

5. 日程

- 平成18年1月19日 取締役会決議
- 平成18年3月9日(予定) 増資効力発生日

6 . 今後の見通し

子会社化の時期が期末日に近いことから、当連結会計年度末を連結決算上の子会社化の時期とみなします。よって、平成18年3月期の連結決算は、貸借対照表のみ連結子会社としての処理を行い、損益計算書は従前通り持分法適用関連会社としての処理を行いますので、当社連結損益に与える影響はありません。

以 上

【ご参考】

西武建設株式会社 中期再建計画（平成17～19年度 3カ年）骨子

（1）基本方針

- 1．売上至上主義から利益重視経営へのシフトによる収益力の改善
- 2．資産の圧縮とリストラクチャリングによる財務体質の改善

（2）再建に向けた主要施策

- 1．土木、建築、住宅の3部門を軸に、利益重視の責任体制を明確にした事業運営組織の確立
 - ・責任体制の明確化を目的とした任期1年の「執行役員制」の導入
 - ・各部門の業務見直しによる利益責任体制の強化、コスト競争力の強化
 - ・利益責任を中心とした組織業績評価および成果主義評価の導入
 - ・情報の共有・横展開を主眼とした部署の設置
- 2．組織、人員のスリム化と効率化
 - ・総人員を1,017人（平成17年3月期実績）から720人（平成20年3月期計画）に削減
 - ・支店・営業所の統廃合
- 3．西武鉄道からの増資と資産の圧縮による財務体質の改善
 - ・保有不動産・株式の売却等による有利子負債・支払利息の減少
- 4．グループとの連携強化・シナジー効果の発揮
 - ・西武グループに対する対応強化、プロジェクト実施等に対する支援の強化
 - ・西武鉄道の「安全輸送の確保」の推進に対する支援の強化

（3）各部門の事業方針

1．土木部門

西武鉄道との協力体制のもとでこれまで培ってきた鉄道工事技術および安全施

工技術を生かし、立体交差や高架等の受託工事を含めた鉄道関連工事への対応を強化します。

今まで実績のある官公庁からの受注を中心とした「地域の選択と集中」をおこなうことにより、収益性の向上を目指します。

2. 建築部門

西武グループ各社の設備投資を受けるために、鉄道駅舎の改築・バリアフリー化やレジャー施設のリニューアル工事への対応を強化します。

民間工事については、首都圏・関西圏の大規模商圏のマンションに特化すること、不採算工事からの撤退等により収益性の向上を目指します。

3. 住宅部門

これまでに積み上げてきた評価の高い営業・設計・施工体制を維持しながら、当部門の主力である「都市型戸建」分野への取り組みを強化します。

「取引先の選択と集中」を進めることで、収益力の一層の向上を目指します。

(4) 計画数値

	(ご参考)	
	平成17年3月期実績	平成20年3月期計画
売上高	94,499 百万円	72,000 百万円
売上総利益	4,418 百万円	4,510 百万円
営業利益	114 百万円	1,501 百万円
経常利益	1,910 百万円	924 百万円

株主資本	7,999 百万円	22,502 百万円
有利子負債残高	89,875 百万円	11,517 百万円

以 上